

第三者評価の結果

1 第三者評価委員会からの評価・助言

令和4年2月17日（木）に中部運輸局が主催する第三者評価委員会が実施され、本協議会は「東浦町地域公共交通網形成計画（旧計画）の評価」について報告した。第三者評価委員会より以下のとおり助言があった。

評価できる取り組み

- 防疫対策について様々な媒体で繰り返し周知を行ったことが確認できました。これらの効果についても追跡調査し、次の取り組みに繋げていることを評価します。
- 次期地域公共交通計画の策定に向けて、バスの利用状況について詳細に分析されていることを評価します。

期待する取り組み

- 次期地域公共交通計画においては、計画に掲げられた事業を着実に実施されるとともに、新路線や民間バス路線の評価に関する指標を設定されるよう期待します。
- 新たな移動手段の導入については、目的を明確化し、安全性・持続性の高い事業となるよう期待します。

（補足1）第三者評価委員会の評価委員

- まちづくりの達人ネットワーク理事長 伊豆原 浩二 氏
- 名古屋大学教授 加藤 博和 氏
- 豊橋技術科学大学准教授 杉木 直 氏
- 中部運輸局交通政策部長他運輸局部長

（補足2）地域公共交通網形成計画の評価

令和3年度第6回東浦町地域公共交通会議（書面開催）にて、東浦町地域公共交通網形成計画の目標達成状況等を評価し、国及び第三者評価委員会に提出した。

中部様式

令和3年度 地域公共交通計画の評価結果概要（全体）

**東浦町地域公共交通会議
（東浦町）**

平成19年10月1日設置

平成28年11月1日 東浦町地域公共交通網形成計画策定
（計画期間：平成28年11月～令和4年3月）

令和4年1月17日 令和3年度評価結果送付

3.目標達成に向けた公共交通に関する具体的な取組内容（Do）

地域公共交通網形成計画の目標の達成状況を把握・評価及び、地域公共交通計画を策定するため各種調査を実施（R3.8～）

調査種別	調査目的	対象等
アンケート調査 （R3.8～）	町全体の公共交通に対する意識等を定量的に把握すること ※同時に公共交通に対する意識・行動変容を促すことを狙っている	・12歳以上の町民900人及びその家族を対象 ・本人234人から回答（回答率26.0%） ・家族を含めると445人から回答
グループインタビュー （R3.10～）	地域ごとの個別具体的な要望等を定性的に把握すること	・7小学校区で定員10名程度、約90分のヒアリングを実施 ・参加者数は70名 ・名古屋大学大学院 環境学研究所 加藤博和教授がコーディネーターを務めた

1 アンケート調査で送付した依頼書、アンケート用紙、利用促進用のリーフレット

2 グループインタビューの様子